



# 郷土作家 奥田康夫展

—もの言わぬ物との対話—

2017年 12月1日[金]~12月17日[日]

開館時間：10:00~18:00(入館は17:30まで) 休館日：月曜日

**観覧無料**

主催：(公財)廿日市市文化スポーツ振興事業団

協力：廿日市市文化協会・廿日市市美術協会・特定非営利活動法人 ひろしまインターネット美術館

図版上：《浜の詩》1993年 廿日市市蔵 / 下：《情景Ⅱ》2010年(部分)

はつかいち美術ギャラリー

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号  
(廿日市市役所・はつかいち文化ホールさくらひあ 併設)  
TEL.0829-20-0222 FAX.0829-31-5108  
<http://www.hatsukaichi-esa.net/gallery/>



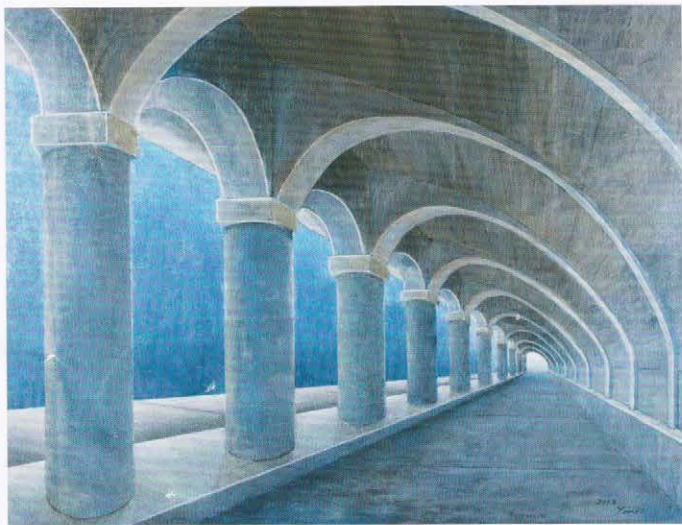
# 郷土作家 奥田康夫展 —もの言わぬ物との対話—

このたび、はつかいち美術ギャラリーでは「郷土作家 奥田康夫展—もの言わぬ物との対話—」を開催いたします。

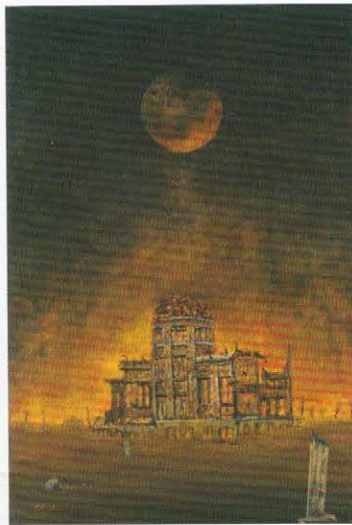
奥田康夫は、1930年広島県双三郡八幡村(現三次市)に生まれました。1949年広島電鉄に勤務、1966年ころから絵画を描き始め、職場絵画グループに所属し、小宮英夫に師事しました。1967年から広島職場美術展、1976年から廿日市市美術協会展・市美展に出品していきます。1990年退職後、1998年から現在にいたるまで春陽会展に出品を続け、2002年には春陽会会友に推挙されます。また廿日市市美術協会の会長を長く務め、2014年には、地域美術の振興に寄与した功績が認められ、はつかいちさくら賞を受賞しました。

奥田の描くモチーフの多くは防波堤です。もの言わぬ防波堤に穏やかな視線を投げかけ、長い時間対話を繰り返して描き上げた作品には、まるで奥田の内面が表現されているようです。

米寿を迎える本年、生涯にわたり描き続けた作品の中から、春陽会展に出品された代表作を中心に約40点を展示します。



1



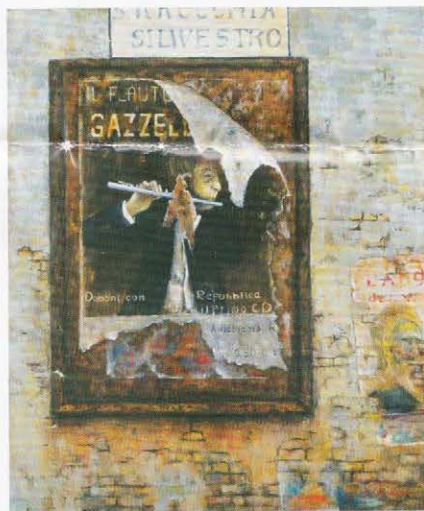
2



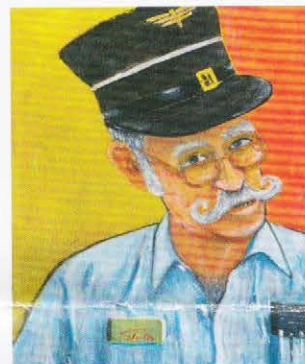
5



3



4



6

- 1 《防波堤》2013年
- 2 《追憶》1999年  
美術館あーとあい・きさ蔵
- 3 《灰屋》1973年
- 4 《ポスター》2006年
- 5 《時》2017年
- 6 《車掌さん》2009年

## 関連行事

### 作家によるオープニング ギャラリートーク

日時：12月1日(金) 10:00~10:30

### ギャラリーコンサート

作家と親交の深い演奏者による  
心のこもったコンサートです。

#### ① マンドリンアンサンブル「ミカマーレ」

日時：12月1日(金) 10:30~11:00

#### ② 関口一清さん(尺八)

日時：12月9日(土) 14:00~14:30

いずれも参加無料、申込不要。  
展示室内で行います。

## 次回展覧会のご案内 ウッドワン美術館収蔵作品展② 2017年12月20日(水)~2018年2月11日(日)



### 交通案内

- JR広島駅から(所要時間約45分)
- ① JR山陽本線で「富内車庫」下車。広島方面へ徒歩約15分。
- ② JR山陽本線で「五日市駅」へ、広島宮島線に乗り換え「広島五日市」から「廿日市市役所前(平良)」下車 徒歩約7分
- 広島市内中心部から(所要時間約1時間)
- 広島宮島線で「廿日市市役所前(平良)」下車 徒歩約7分
- 廿日市ICから(所要時間10分)
- 山陽自動車道「廿日市IC」を降りて西広島バイパスを広島方面へ。  
上平良交差点を南へ約1km、陸橋を下りてすぐ左折。
- \*駐車できる台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

## はつかいち美術ギャラリー

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号  
(廿日市市役所・はつかいち文化ホールさくらびあ 併設)  
TEL.0829-20-0222 FAX.0829-31-5108  
<http://www.hatsukaichi-csa.net/gallery/>

HP はつかいち美術ギャラリー

検索